

一般演題発表プログラム 2008年8月30日(土)

< 第2会場 >

「高次脳機能障害1」 9:00-10:00				
座長: 井後雅之 錦海リハビリテーション病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10017	02-1-1	高次脳機能障害者のリハビリ病院から在宅へのソフトランディング	9:00	9:10
10001	02-1-2	介護保険を利用し就労につながったくも膜下出血の一症例	9:10	9:20
10085	02-1-3	高次脳機能障害者による院内パソコン教室の実践	9:20	9:30
10131	02-1-4	失語症の自動車運転評価	9:30	9:40
10036	02-1-5	脳出血により高次脳機能障害を呈し、職場復帰に向けアプローチした一例	9:40	9:50
10130	02-1-6	高次脳機能障害者における地域連携～医療から職能へと連携がとれたことで就労につながった事例を通して～	9:50	10:00

「維持期リハビリテーション1」 10:00-11:10				
座長: 有本之嗣 須波宗斉会病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10102	02-2-1	制度転換期の福祉リハ 特養・身障療護複合施設での作業療法実践	10:00	10:10
10103	02-2-2	特養ユニットでの非認知症高齢者への集団回想法の試み 指導する介護から共生の介護へ	10:10	10:20
10110	02-2-3	介護保険下のリハビリテーションの展開「高齢者福祉における連携の視点」	10:20	10:30
10134	02-2-4	特別養護老人ホームにおける医療の現状と課題について - 青山里会の場合 -	10:30	10:40
10135	02-2-5	安心住空間と老人福祉施設についての一考察 - ケアハウスを中心として -	10:40	10:50
10094	02-2-6	高齢者自身が決める第二の人生 ～健康維持と学習意欲を喚起する～	10:50	11:00
10123	02-2-7	地域コミュニティーをベースとした疾病治療のBefore/After	11:00	11:10

「維持期リハビリテーション2」 13:10-13:50				
座長: 伊藤康信 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10064	02-3-1	介護老人保健施設通所リハビリテーションの役割について～入所から通所への関わり 症例を通して～	13:10	13:20
10039	02-3-2	介護支援専門員を対象にした訪問リハビリテーションサービス提供状況の把握及び意識調査	13:20	13:30
10096	02-3-3	訪問リハビリテーションにおける理学療法士としての役割	13:30	13:40
10112	02-3-4	当院における訪問リハビリの取り組みについて～情報共有の観点から～	13:40	13:50

「在宅支援」 13:50-15:00				
座長: 吉村繁子 錦海リハビリテーション病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10043	02-4-1	在宅自立支援に向けて～私、家に帰ってイチかバチかやってみる～	13:50	14:00
10051	02-4-2	活動範囲拡大への取り組み	14:00	14:10
10042	02-4-3	“一人暮らしがしたい”～CRPSの症例との関わりを通して～	14:10	14:20
10055	02-4-4	在宅復帰への取り組み～合い言葉は「一生面倒みます」～	14:20	14:30
10111	02-4-5	これでどこでも行けえ～がん！～シニアカーの導入とタクシーの利用を行って～	14:30	14:40
10119	02-4-6	複数制度の利用事例を通して	14:40	14:50
10070	02-4-7	障がい福祉サービスから学んだこと～こころの自立支援にむけて～	14:50	15:00

「高次脳機能障害2」 15:00-15:50				
座長: 山本梯司 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10005	02-5-1	前頭葉損傷患者の行為の誤りへの気づきを促す看護介入の一考察 - 動作誘導の口頭指示から鏡の活用へ -	15:00	15:10
10004	02-5-2	視覚的代償を用い行動の習慣化を援助したことにより身辺への認識が改善した脳梗塞右片麻痺・失語症の症例	15:10	15:20
10002	02-5-3	失語症によりコミュニケーション障害をきたした患者への看護介入の一考察 - 視覚的手段を用いた介入方法 -	15:20	15:30
10107	02-5-4	右前頭葉梗塞により左半側空間無視と活動量の増加とともに遂行機能障害を認めた一症例	15:30	15:40
10010	02-5-5	移乗動作における高次脳機能障害と介助量の変化～BITを用いて～	15:40	15:50

「認知症2」 15:50-16:50				
座長: 佐藤裕之 グループホームかわさき				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10117	02-6-1	認知症専門棟におけるリハビリテーションプログラムの構築 ～リハビリ構成がもたらす効果の検証～	15:50	16:00
10109	02-6-2	認知症高齢者に遊びリハビリテーションを取り入れた効果	16:00	16:10
10071	02-6-3	在宅高齢者における認知症介入評価プログラム(TDAS)による評価とADL, 家族介護負担感の関係	16:10	16:20
10086	02-6-4	認知症高齢者の在宅生活を支える作業療法士の役割 心身機能評価をチームアプローチに活かして	16:20	16:30
10087	02-6-5	認知症高齢者の在宅生活を可能にするケアマネジャーの役割 介護者のストレスに焦点を絞って	16:30	16:40
	02-6-6	介護拒否のある認知症利用者への対応	16:40	16:50

<第3会場>

「摂食嚥下障害」 9:00-9:40				
座長: 水野順一 将道会総合南東北病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10033	03-1-1	当院における重度摂食嚥下障害患者のチューブ外しの取り組みについて	9:00	9:10
10099	03-1-2	マウスピースを用いた嚥下訓練	9:10	9:20
10077	03-1-3	病棟とSTの連携により安全な経口摂取が実現できた1症例～摂食機能療法を導入して～	9:20	9:30
10034	03-1-4	食べることで意欲を引き出す!!～おはぎが食べたい～	9:30	9:40

「栄養管理」 9:40-10:30				
座長: 諸家香代子 尾崎病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10018	03-2-1	味氷を用いたアイシングの検討	9:40	9:50
10054	03-2-2	溫柔食、テングー食の開発～介護食在宅への架け橋～	9:50	10:00
10009	03-2-3	きざみ食改良への試み	10:00	10:10
10057	03-2-4	新しいなば幸朋苑(特養)における7年間の経腸栄養に関する検討	10:10	10:20
10053	03-2-5	当院の褥瘡対策とNST～現状と今後の課題～	10:20	10:30

「回復期リハビリテーション」 10:30-11:10				
座長: 小川協子 ウェルフェア北園渡辺病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10000	03-3-1	当院における亜急性期病棟入棟条件の妥当性について	10:30	10:40
10015	03-3-2	錦海リハビリテーション病院におけるFIM、自宅復帰に関する調査及び全国の回復期リハ病棟との比較	10:40	10:50
10044	03-3-3	脳卒中リハにおける急性期・回復期の効果的連携を目指して～在宅復帰を規定する要因分析について～	10:50	11:00
10061	03-3-4	回復期リハビリテーション病棟より急性期病院に転院となった患者の検討	11:00	11:10

「認知症1」 13:10-14:10				
座長: 小林達子 介護老人保健施設いなば幸朋苑				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10052	03-4-1	廃用症候群をきたした認知症高齢者のQOL向上を試みて	13:10	13:20
10080	03-4-2	重度認知症高齢者が「その人らしく生活をする」ためには	13:20	13:30
10095	03-4-3	センター方式の活用による職員の意識変化とケアの実際～その人らしさを優先したケアを目指して～	13:30	13:40
10116	03-4-4	センター方式とDCMを活用した認知症ケアの効果的な支援モデルの開発	13:40	13:50
10106	03-4-5	知ってみよう! やってみよう!～ご利用者本位とは～	13:50	14:00
10120	03-4-6	基本検診におけるタッチパネルでの認知症の早期発見	14:00	14:10

「看取り・ターミナルケア」 14:10-15:20				
座長: 廣江晃 社会福祉法人こうほうえん				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10097	03-5-1	当施設における終末期ケア	14:10	14:20
10098	03-5-2	当施設における看取り例の検討	14:20	14:30
10088	03-5-3	特養における看取りの体制～その場であわてないために～	14:30	14:40
10083	03-5-4	グループホームでのターミナルケアの一事例	14:40	14:50
10045	03-5-5	特定施設における看取りケアの取り組み～夫のそばにいたい～	14:50	15:00
10118	03-5-6	癌に侵された御利用者を看取って～緩和ケア・家族ケアを考える～	15:00	15:10
10108	03-5-7	母の最期を自宅で看取って	15:10	15:20

「入退院支援」 15:20-16:30				
座長: 狭田純 廿日市記念病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10011	03-6-1	入退院システムによるシームレスケアの実際	15:20	15:30
10023	03-6-2	「戦略的な家族面接」の模索(第一報)家族診断によるニーズの創造と相談員の役割	15:30	15:40
10050	03-6-3	当院における退院支援について	15:40	15:50
10040	03-6-4	脳卒中患者の在宅復帰に影響する社会的要因の検討-当院回復期リハビリテーション病棟において-	15:50	16:00
10030	03-6-5	急性期医療機関と高次脳機能障害との関わりについて	16:00	16:10
10114	03-6-6	当院精神療養病棟入院患者の退院準備に向けた取り組み	16:10	16:20
10022	03-6-7	介護老人保健施設の役割についての考察～身寄りのない癌患者の入所援助を通して～	16:20	16:30

**< 第4会場 >**

「ADL1」 9:00-9:40				
座長: 沖野光彦 おきの会旗の脳神経外科病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10008	04-1-1	ホックの大きさを変容すると片手でブラジャー装着は容易ならしめるか	9:00	9:10
10016	04-1-2	自己の身体の再獲得に向けたアプローチ	9:10	9:20
10020	04-1-3	更衣がリハビリ期の患者に与える効果について	9:20	9:30
10124	04-1-4	反応の乏しかった脳梗塞後遺症後の患者様の離床を通じての変化～生活していることの実感～	9:30	9:40

「ADL2」 9:40-10:20				
座長: 日高艶子 聖マリア学院大学				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10003	04-2-1	急性散在性脳脊髄炎による反射性尿失禁をきたした患者への排尿誘発を試みた看護介入の一考察	9:40	9:50
10058	04-2-2	自宅復帰と排泄動作自立度との関係 - トイレFIMの比較 -	9:50	10:00
10012	04-2-3	総合的排泄アセスメントシートの試作	10:00	10:10
10133	04-2-4	訴えの難しい認知症におけるその人らしい生活の実践 ～ 排泄ケアを通して予測するケアへ ～	10:10	10:20

「画像診断」 10:20-11:20				
座長: 松島忠夫 将道会総合南東北病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10056	04-3-1	脊髄髄内上衣腫のPET診断と外科的治療	10:20	10:30
10028	04-3-2	AEC使用での頭部単純CTにおける線量低減化の報告「CT-AECの検討 第二報」	10:30	10:40
10029	04-3-3	CT撮影における管電流変化の基礎的検討「CT-AECの検討 第一報」	10:40	10:50
10059	04-3-4	3.0T MRIにおける神経血管減圧術(MVD)術前評価の検討	10:50	11:00
10063	04-3-5	3.0テスラMRI検査時の装着品の検討	11:00	11:10
10091	04-3-6	FDG - PETが診断に有用であった脈絡膜悪性黒色腫の1例	11:10	11:20

「リハビリテーション1」 13:10-13:50				
座長: 原田英昭 養和病院神経内科・リハビリテーション部				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10031	04-4-1	リハビリテーション病院入退院時BIの変化とBrunnstrom Stage、USN・注意障害の有病率と関係	13:10	13:20
10041	04-4-2	退院後の入浴関連動作と主介護者における介護負担感の経時的な変化	13:20	13:30
10122	04-4-3	大腿骨近位部骨折術後患者を対象とした、認知度と術後日常生活動作の程度による在院日数についての検討	13:30	13:40
10100	04-4-4	パーキンソン病におけるリハビリテーションの一考察	13:40	13:50

「リハビリテーション2」 13:50-14:30				
座長: 北山朋宏 錦海リハビリテーション病院リハビリテーション技術部				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10037	04-5-1	麻痺側支持での降段動作の不安定性に対し、筋電学的評価を取り入れた一例	13:50	14:00
10038	04-5-2	胸部大動脈瘤術後に伴う姿勢調節障害が立ち上がり動作に及ぼす筋電学的検討	14:00	14:10
10066	04-5-3	自立を目指した在宅ケア パワーリハと加圧トレーニングを取り入れて	14:10	14:20
10104	04-5-4	脳梗塞左片麻痺者に対するストレッチポールを利用したコアコンディショニングの効果	14:20	14:30

「介護予防」 14:30-15:30				
座長: 矢倉陸江 介護老人保健施設なんぶ幸朋苑				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10014	04-6-1	かくれ要介護予備軍を救助せよ ～マシン実施、未実施における経時的変化の傾向～	14:30	14:40
10093	04-6-2	特定高齢者施策の評価にE-SASを用いて	14:40	14:50
10025	04-6-3	特定高齢者への取り組み	14:50	15:00
10092	04-6-4	理学療法と介護予防～島根県理学療法士会における意識調査から～	15:00	15:10
10065	04-6-5	「介護予防の経過と現状」	15:10	15:20
10032	04-6-6	地域支援事業を経験して理学療法士の視点から考える介護予防事業の課題と取り組み	15:20	15:30

「地域連携」 15:30-16:10				
座長: 石田晴玲 介護老人保健施設さかい幸朋苑				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10132	04-7-1	地域ネットワークの構築に向けて	15:30	15:40
10136	04-7-2	地域ケア体制におけるシステムについての一考察	15:40	15:50
10127	04-7-3	リハビリテーション支援センター事業と地域連携	15:50	16:00
10137	04-7-4	医療連携への挑戦～既存のネットワークを生かして地域をつなげ	16:00	16:10

「介護の工夫」 16:10-16:50				
座長: 野浪一仁 鳥取県済生会介護老人保健施設				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10069	04-8-1	睡眠の援助としてKOM!チャートの認識面・行動面に視点を当てたハーブオイルの効果	16:10	16:20
10067	04-8-2	高齢者の乾燥肌に米ぬか液を用いた保湿の有効性	16:20	16:30
10007	04-8-3	自主製作赤外線離床センサーの運用に関して	16:30	16:40
10027	04-8-4	足の先まで大切に ～フットケアに取り組んで～	16:40	16:50

< 第5会場 >

「患者指導・教育1」 9:00-9:40				
座長: 込山朝美 板橋中央総合病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10021	05-1-1	高齢糖尿病患者への自己管理に向けた教育 - 外来でのインスリン自己注射導入の試み -	9:00	9:10
10075	05-1-2	当院における糖尿病教室の現状と課題	9:10	9:20
10047	05-1-3	ICU入室患者の不安を緩和するオリエンテーションの効果 ~ STAIを用いて ~	9:20	9:30
10125	05-1-4	人工股関節置換術後患者の退院指導の検討 退院後の日常生活動作の調査より	9:30	9:40

「患者指導・教育2」 9:40-10:20				
座長: 佐々木孝枝 鳥取市立病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10090	05-2-1	特定保健指導における内臓脂肪測定CTの有用性の検討	9:40	9:50
10076	05-2-2	脳卒中予防健康講座に参加した一般市民の健康に対する意識	9:50	10:00
10126	05-2-3	ヘルスプロモーションにつながる地域における健康教室 脳卒中予防の普及をめざして	10:00	10:10
10078	05-2-4	健康的なライフスタイル推進のための健康指標を提供する取り組み	10:10	10:20

「補装具」 10:20-11:10				
座長: 福井甫 介護老人福祉施設さかい幸朋苑				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10013	05-3-1	脳卒中片麻痺患者の杖選択基準となるチェックシート作成の試み	10:20	10:30
10024	05-3-2	脳卒中片麻痺患者の装具適合性 ~ 耐久年数を越えて使用した一症例 ~	10:30	10:40
10079	05-3-3	脳血管障害回復期におけるシーティングシステムを導入した離床方法の検討	10:40	10:50
10089	05-3-4	理学療法士と下肢装具 脳卒中片麻痺者の歩行自立に向けた関わり	10:50	11:00
10105	05-3-5	Down症に伴う外反扁平足に対する軟性短下肢装具使用例	11:00	11:10

「こころのケア」 13:10-14:20				
座長: 鈴木恒子 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10019	05-4-1	突然の受傷により脊髄損傷を呈し危機的状況に陥った患者の危機介入 - フィンクの危機モデルを用いて -	13:10	13:20
10049	05-4-2	ブラッシュアップ入院の展開1(心理・行動・環境の視点) 治療に難渋していた反射性交感神経委縮症の1症例	13:20	13:30
10060	05-4-3	ブラッシュアップ入院の展開(心理・行動・環境の視点2) ~ つ病の診断で抗うつ薬治療がされていた1症例	13:30	13:40
10046	05-4-4	クロイツフェルトヤコブ病患者の看護とその家族への関わりを振り返って	13:40	13:50
10115	05-4-5	寄り添うケアを目指して ~ 帰宅願望の強い利用者を通して ~	13:50	14:00
10101	05-4-6	対人関係の苦手な対象者に「肯定的なかかわり」を試みて	14:00	14:10
10084	05-4-7	遺族訪問時のプロセスレコードからの質的分析 ~ 訪問看護師としての関わりから見えてきたもの ~	14:10	14:20

「職員教育」 14:20-15:30				
座長: 山崎昭子 錦海リハビリテーション病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10073	05-5-1	在宅看護概論受講時の対象理解の実態 学生のレポート分析結果より	14:20	14:30
10026	05-5-2	「新人教育に対する取り組み」...心のゆとりを持って...	14:30	14:40
10074	05-5-3	急患室における看護師の専門職意識と行動 ~ インタビューと行動観察から ~	14:40	14:50
10068	05-5-4	当院におけるAED研修前後の意識調査	14:50	15:00
10081	05-5-5	医師のヒヤリハット報告書の意識改革への取り組み ~ 手術部位確認書を用いて ~	15:00	15:10
10113	05-5-6	安全に対する意識改革	15:10	15:20
10128	05-5-7	ユニットケアの考えを施設全体に!! ~ フロアリーダー会議の重要性 ~	15:20	15:30

「その他」 15:30-16:30				
座長: 角田賢 錦海リハビリテーション病院				
登録番号	演題番号	演題名	発表時間	
10129	05-6-1	白内障術後のQOL向上を目指して	15:30	15:40
10062	05-6-2	病棟クラークの専門性と展望 ~ 4年間の取り組み ~	15:40	15:50
10035	05-6-3	医師事務作業補助体制を導入して	15:50	16:00
10048	05-6-4	育成を中心とした人事制度の導入と実践例	16:00	16:10
10006	05-6-5	在宅医療における薬剤師の役割の可能性 ~ ALS患者・家族の心の架け橋に ~	16:10	16:20
	05-6-6	近隣小学校との交流を通してみえたこと ~ 4年間の活動経過と考察 ~	16:20	16:30